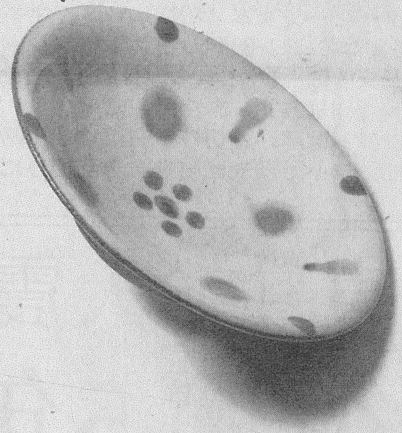


## 沖縄らしい彩りと曲面



沖縄の四彩点打七寸皿 直径約21.5寸、高さ約6寸で税抜き3200円。問い合わせは福岡県朝倉市の工芸店「秋月」（電話0946・25・1270、火曜定休）へ。外山亮一撮影

今回紹介するのは、沖縄の「やちむん」（焼き物）です。この皿は、底から膨らみをもって立ち上がり、外側に開いたおおらかな形が沖縄らしさを感じさせます。

飴釉、緑釉、コバルト釉の点打が小さく散らされたカラフルな模様。中心に梅の花が描かれ、全体の印象を引き締めています。形もやや深めで使いやすい大きさです。

ゴーヤーチャンプルーやニンジンのしりしりーといった沖縄料理を盛ってみてください。彩りがびったり合うと同時に、皿の内側の曲線の美しさが際立ちます。

作り手は、いまはあえて名前は伏せますが、私が注目している女性陶工です。人気の高い共同窯「読谷山焼北窯」の窯元のひとり、宮城正享の

んのもとで5年間修業しました。

彼女がろくろをひくとき、宮城さんは隣で自分もろくろをひき、「手数を減らして形を決めなさい」と教えたそうです。その頃、彼女は吸収の早い10代。親方の背中を見ながら、沖縄らしい基本の形を学びました。その後、沖縄のいくつかの窯で修業し、26歳で独立しました。

現在は40代前半。彼女の窯へ行き、ものを作っているのを見ると、ろくろを回したときの形の取り方の早さと正確さに驚かされます。宮城さんゆずりの骨格のある形に女性らしい明るく華やかな絵付けが加わり、彼女の個性となっています。

（もやい工藝スタッフ）

堀沢三香

そばに置きたい

